

『発汗異常を伴う稀少難治療性疾患の治療指針作成、疫学調査の研究』

2019年度 第2回 班会議 議事録

会場：東京医科歯科大学 湯島キャンパス MD タワー 8階 共用セミナー室10

日時：2020年1月11日(土) 午後3時～5時

参加者：中里良彦、朝比奈正人、岩瀬敏、新関寛徳、野村尚史、芳賀信彦、佐野健司、犬飼洋子、宗次太吉、飯田忠恒、横関博雄(敬称略)

【プログラム】

1. 班長挨拶 15:00-15:05 (5分)

2. 各個研究発表 *ppt スライド使用 15:05-17:05 (20分×6演題 120分)

AIGA：飯田忠恒、深江大毅、中村美智子、稲澤美奈子、藤本智子、並木剛、横関博雄

【特発性後天性全身性無汗症の予後調査と病態解析】

AIGA：佐野健司、朝比奈正人、荒木信之、山中義崇

【AIGAの汗腺明細胞形態変化について】

AIGA：犬飼洋子、岩瀬 敏

【塩化アルミニウム長期制汗治療を行った全身性多汗症患者における多汗残存部位での皮膚交感神経活動】

AIGA：朝比奈正人、荒木信之、山中義崇、吉田俊樹、片桐明、藤沼好克、桑原聡

【特発性後天性全身性無汗症患者における手掌部発汗残存の頻度とその臨床背景】

無痛無汗症：芳賀信彦、久保田雅也

【先天性無痛無汗症に関する研究活動】

肥厚性皮膚骨膜炎：新関寛徳、野村尚志、梅野淳嗣、関根高子、吉田和恵、中林一彦、久松理一

【肥厚性皮膚骨膜炎研究活動：非特異性多発性小腸潰瘍症合併例アンケート集計結果を中心に】

- ・当日はプログラムの通り各個研究について報告をしていただいた。
 - ・AIGAについては、長期予後経過を今年度に英文でまとめる。
 - ・無痛無汗症については、今後レジストリー作成が必要。
 - ・肥厚性皮膚骨膜炎については、非特異的小腸潰瘍合併症例の疫学調査を報告。今後、それぞれの疾患のレジストリー作成が必要。
- ・例年の通り、(年度末から5月頃にかけて)厚生省への報告書が求められます。
今年度用の書式は未だ配布されておりませんので、連絡を受け次第周知させていただきます。
ご協力をお願い申し上げます。